

越後駒ヶ岳 新人歓迎山行

山行日 2022年9月10、11日（土、日）

参加者 L T内s SLK鎌田m T市t T中m

コース 9/10(土)松戸 3:00＝枝折峠 7:30－明神峠 8:00/8:10－小倉山 10:10/10:30－

駒の小屋 13:05/13:55－駒ヶ岳山頂 14:10/14:20－駒の小屋 14:30(泊)

9/11(日)駒の小屋 6:40－小倉山 8:05/8:10－明神峠 10:05－枝折峠 10:25

『今回は種市さんの歓迎山行なので、夕食は皆で一品ずつ持ち寄って歓迎会をしましょう。』というリーダーからのメールで、さて何にしようかと悩むこと1週間。テントはないが、水が3～4リットル必要と言われ、荷物が重くなってしまったことに少々不安になりながら出発。

枝折峠の駐車場に着くと駐車場はほとんど埋まっていたが、滝雲を見に来た車が帰った所に運良く停めることが出来た。枝折峠は、早朝に奥只見・銀山平で発生した霧が雲海となり、山の稜線を越え、滝のように流れ落ちる『滝雲』という自然現象が見られる場所だ。

枝折峠から少し登ると、滝雲は見られなかったが、霧に虹がか



かかっていて、楽しみな滑り出し。樹林帯はぬかるみもあったが、木道や階段が整備されていて歩きやすく、曇り空の天気も、晴天よりは暑過ぎず良い。いくつかアップダウンを繰り返して、汗びしょりで、小倉山に到着。リーダーは『半分まで来たよ』と励ましてくれるけど、高度は3分の1しか登っていないので、これからが本格的な登りだ。そこから緩斜面を登りしばらくすると百草ノ池の標識があったが、そこから池は見え、さらに急登を登り振り返ると丸くて小さな池が見えた。時折、雪溪から吹く涼しい風に励まされながら、最後は岩場を登り、駒の小屋に到着。駒の小屋は、避難小屋だが、小屋番さんが居て、中は清潔で気持ちがいい。2階の一角に荷物を置いて、山頂を目指す。



山頂はガスっていて景色は見えなかったが、100名山1座登頂。暑さや疲れも吹っ飛び、自然と笑顔がもれる。駒の小屋に戻り、歩いて3分下った水場で水を調達したら、歓迎会の始まりだ。豚汁、焼きビーフン、豚タン焼き、わかめの酢味噌和え、しめじのソテーなど皆で持ち寄った品が並ぶ。「山の上で、こんなに食べられるなんて嬉しい。」と喜んでもらえて良かった。夕方になりやっと雲が晴れて周りの山々が見えてきた。北の方の山はなだらかで優しい感じがする。

2日目は、5時起床。朝食は、リーダーが、スクランブルエッグやソーセージを振舞ってくれたので、お腹いっぱい元気に出発。心なしか早いペースと暑さに無言になりながら下っていく。

2時間も下って振り返ると越後駒ヶ岳が遠くに見えた。

無事下山。

温泉に入り、立ち寄った田舎食堂は、メイン料理に季節の摘み草料理やデザートなど品数が多く、越後駒ヶ岳を眺めながら頂けて大満足。道の駅でお土産も買い、帰路に着いた。

計画から運転、調理などリーダーには大変お世話になりました。とても楽しい山行でした。

皆様ありがとうございました。種市さん、これからも山行を楽しんで下さいね。

